

## 中学生が見つけた“いいものづくりのヒント” 未来の“ものづくり人”を育む3日間の製造・品質管理体験 — ライオンケミカルが地元・有田市でキャリア教育に協力 —

ライオンケミカル株式会社（本社：和歌山県有田市、代表取締役社長：田中源悟）は、地域貢献活動の一環として、地元有田市の有和（ゆうわ）中学校の生徒3名を迎え、3日間の職場体験プログラムを実施しました。

生徒たちは「身近な日用品ができるまで」を学ぶことを目的に、製造や品質管理の現場を体験。製品ができるまでの工程の大変さや楽しさを肌で感じました。最終日には「わたしたちが見つけたいいいものづくりのヒント」をテーマにまとめ発表を行い、ものづくりの奥深さとチームワークの大切さを学びました。



左：製造体験の様子。作業着を着て、説明を受けながら作業に挑戦。

右：品質管理体験の様子。分析機器を操作し、製品の品質を守る大切さを実感。

### ■活動の背景

ライオンケミカルは、地元・和歌山県有田市に根ざした総合日用品メーカーとして、地域社会とともに歩む企業活動を続けています。

その一環として、地域の教育現場と連携し、次世代を担う子どもたちに「働くことの意義」や「ものづくりの面白さ」に触れる機会を提供しています。

今回の中学生職場体験では、製造や品質管理の実際の現場を体験することで、ものづくりへの関心を育み、地域産業への理解を深めることを目的としました。

同社ではこれまでも、地元の小中学生の工場見学受け入れや、蚊取り線香のPR活動などを通じて、地元根差した文化・産業の継承をサポートしてきました。

こうした取り組みを通じて、SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」および目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献しています。

## ■活動の内容

### 【1日目】製造体験—ものづくりの大変さと楽しさを体感



左：工場で作られる製品の説明を熱心に聞く生徒たち。右：初めての立ち作業。チームで協力してものづくりに挑戦。生徒たちは集中して作業に取り組み、協力しながら製品づくりの楽しさと大変さを体感した。

生徒たちはまず、ライオンケミカルの工場を見学。最新の生産設備や、きびきびと働く社員の姿に興味津々の様子で、工場長の説明に熱心に耳を傾けていました。

その後、作業する上での注意事項に関する説明を受け、箱詰めや包装などの流れ作業を体験。慣れない立ち仕事に「足が痛い！」という声も聞かれましたが、最後まで集中して作業に取り組みました。

作業後、社員から「みんなのがんばりで出来上がった製品は、全国のお店に並ぶんだよ」と声をかけられると、生徒たちは「すごーい！」と達成感に満ちた表情を見せ、大きな笑顔があふれました。

指導にあたった現場の社員からは、「想定以上の生産数に驚いた」と感心する場面もあり、生徒たちの吸収力と真剣な姿勢が光る一日となりました。

### 【2日目】品質管理体験と座談会—品質を守る仕事の奥深さに触れる



左：製造現場での検査業務。右：検査室での分析業務。自分の目と手で測定・確認し、製品の品質を守る大切さを学んだ。

2日目の午前中は、品質管理部門で製品検査や分析作業を体験。慣れない分析器具の使用でも、社員の説明を一つひとつ確認しながら丁寧に作業を進めました。

「難しかったけど面白かった」と、生徒たちは初めての体験に好奇心を輝かせていました。

午後は再び製造現場で化粧品のノズル取り付けやシール貼り、段ボール積み作業を体験。初日とは異なる作業でも、すぐに仕事の流れを理解して、熱心に作業に取り組む姿が見られました。

その後、若手社員との座談会を通じて、仕事の工夫やチームで支え合う大切さ、働くことの意義を学びました。

### 【3日目】体験の振り返りと発表会「わたしたちが見つけた いいものづくりのヒント」



意見を出し合いながら、  
“いいものづくりのヒント”をまとめる生徒たち。



社員の前で堂々とした発表。  
会場には温かな拍手が広がった。

最終日は、これまでの体験を振り返るワークを行い、それらをまとめた発表を実施。

生徒たちはパワーポイントを用いて、「チームワーク」「報連相」「お客様の目線で考えること」など、ものづくりの本質を自分たちの言葉で堂々と発表。生徒たちが見つけた“いいものづくりのヒント”は、協力し合うこと、つまり「チームワーク」であると伝えました。

発表を聞いた社員からは「若い力に刺激を受けた」「初心を思い出した」との感想が寄せられ、互いに学び合う貴重な時間となりました。

3日間を通じて、生徒たちは“ものづくりの現場”を肌で感じ、働くことの意義やチームで支え合う大切さを学びました。

社員にとっても、初心を思い出し、地域の未来を担う若い世代と向き合う貴重な機会となり、チームワークの重要性を改めて実感する場となりました。

#### ■ 生徒の声

「買ってくれるお客様のことを考えてものづくりをしているのが素敵だと思いました。」  
「みんなの力でいいものづくりをしていると分かりました。協力することの大切さを学びました。」  
「一人の力だけでなく、みんなで相談して意見を言い合って改善していくことが大切だと思います。」

#### ■ 社員の声

「中学生の素直な視点から“チームで協力することの大切さ”を改めて教えられた。」  
「この短い時間で“考えて動く”姿勢を見せてくれたことが嬉しかった。」



発表を終えた生徒たちへ社員から温かいフィードバック。社員の言葉にうなずきながら、ものづくりの奥深さを実感。

## ■今後の展望 — 地域とともに未来を育む取り組み



これまでの地元中学生との交流の様子。地元の特産品である蚊取り線香を通じて地域の魅力発信にも取り組んできました。

ライオンケミカルは、これからも地域の学校や行政と連携し、子どもたちの学びやキャリア形成を支援していきます。

創業から 140 年という長い歴史の中で培った“ものづくり企業としての強み”を生かし、地元の伝統や技術力を次世代へと継承しながら、地域の未来を担う若い世代とともに成長し、教育支援や体験学習を通じて「地域とともに成長する企業」を目指します。

### 【会社概要】

会社名 : ライオンケミカル株式会社  
 代表取締役社長 : 田中 源悟  
 本社所在地 : 〒649-0311 和歌山県有田市辻堂 1 番地 1  
 URL : <https://www.lionchemical.jp/>  
 創業 : 明治 18 年 4 月  
 創立 : 昭和 14 年 4 月  
 資本金 : 1 億円  
 従業員数 : 290 名  
 事業内容 : 蚊取り線香をはじめとする家庭用殺虫剤、及び日用品(洗浄剤・芳香消臭剤・浴用剤など)の製造

本件に関するお問い合わせ先

ライオンケミカル株式会社 総務部 主任 宮崎敦司  
 TEL:0737-22-6900 FAX:0737-82-3214  
 E-mail:at-miyazaki@lionchemical.jp